

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-110	A-750	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Causal associations of alcohol consumption with cardiovascular diseases and all-cause mortality among Chinese males 中国人男性におけるアルコール摂取と心血管疾患および全死因死亡率との因果関係		
執筆者		
Chunyu Hu, Chunyan Huang, Jianxin Li, et al.		
掲載誌		
Am J Clin Nutr. 2022; 116: 771-779. doi: 10.1093/ajcn/nqac159.		
キーワード		PMID
コホート、アルコール摂取、心血管疾患、全死因死亡率、メンデルランダム化		35687413
要 旨		
<p>目的： 中国人における適度な飲酒と心血管疾患（CVD）、特に冠動脈疾患（CAD）との因果関係については、継続的に議論されている。本研究は、中国人男性におけるアルコール摂取と心血管疾患および全死因死亡率との因果関係について調査することを目的とした。</p> <p>方法： 中国 PAR プロジェクトの3つの前向きコホート対象者である中国人男性 40,386 人のうち、血液サンプルがあり ALDH2-rs671 の遺伝子型が特定された 17,676 人を本研究の対象とし、rs671 を操作変数に使用したメンデルランダム化（MR）解析を行った。ベースラインのアルコール摂取情報はインタビューで収集し、過去 1 年間の週 1 回以上の飲酒の有無で飲酒者、非飲酒者に分類した。飲酒者にはさらに飲酒頻度、飲料の種類、アルコール摂取量について尋ね、軽度（$\leq 25\text{g}/\text{日}$）、中等度（$25\text{g} \sim \leq 60\text{g}/\text{日}$）、重度（$> 60\text{g}/\text{日}$）に分類した。追跡期間中の CVD 発症と死亡は、対象者（あるいは代理人）へのインタビューおよび病院記録や死亡診断書から評価した。非飲酒者を基準とし、CVD と全死亡リスクのハザード比（HR）と 95%信頼区間（CI）の推定に、Cox 回帰モデルを用いた。さらにアルコール摂取量を連続変数とし、軽度～中等度のアルコール摂取と CVD リスクとの関連を確認するため、大量飲酒（$> 60\text{g}/\text{日}$）を除外した上で、MR 解析を行った。</p> <p>結果： 303,353 人年の追跡期間中に、2,406 人の CVD 発症と 3,195 人の全死因死亡が確認された。アルコール摂取と CVD 発症および全死因死亡との間に J 字型の相関が認められ、軽度、中等度ではリスクが低下した。MR 解析の結果、遺伝的に予測されるアルコール摂取と CAD・脳卒中を含む CVD 発症との関連に線形相関を認めた。HR（95%CI）は、アルコール摂取量 $12.5\text{g}/\text{日}$ の増加により全死因死亡 1.20（1.03-1.40）、CVD 発症 1.27（1.05-1.53）、CAD 発症 1.46（1.01-2.11）、脳卒中 1.33（1.02-1.74）で有意に増加した。</p> <p>結論： アルコール摂取量が多いほど、全死亡および CAD や脳卒中を含む CVD 死亡リスクが高まることが明らかとなり、男性の軽度～中等度飲酒者においても、アルコール摂取量を減らすことが健康に良いことが強調された。</p>		